こしがやＳＤＧｓパートナ交流イベント～脱炭素経営について考えよう～
報告書

実施日：令和７年７月８日（火）

内容

開催日時：令和７年７月８日（火）１８時～２０時
場　　所：中央市民会館　第１３～１５会議室

参加者一覧

以下の企業等８組１１名、登録前の企業４組６名、
一般の参加者２名の計１９名の参加となりました。

44. 株式会社ACTIONSPORTS
47. 株式会社イハシ（イハシグループ）
103. 株式会社 神谷サンプラス
131. 積水ハウス株式会社　埼玉東シャーメゾン支店
172. 東京東信用金庫　大袋支店
181. 株式会社 アミカテラ
186. 中村建設
187. 花王グループカスタマーマーケティング株式会社
　　ビジネス開発部門関越地区

プログラム

１．越谷市の取組について
２．基調講演
　①「脱炭素経営に向けた地域金融機関の取組み」
　　講師：埼玉りそな銀行　経営企画部　サステナビリティ推進室
　　室長　鈴木　学　氏
　②「見える化から始めるＧＸ経営」
　　～排出量とコストを同時に可視化することの重要性～
　　講師：ＳＣＳＫ株式会社　ＧＸセンター　顧問　高橋　壮模　氏
３．意見交換

こしがやＳＤＧｓパートナ交流イベント～脱炭素経営について考えよう～
報告書

実施日：令和７年７月８日（火）

１．越谷市の取組

越谷市で取り組んでいる脱炭素に関する取組、こしがやＳＤＧｓパートナーに関する取組についてご紹介しました。
【主な内容】
・越谷市環境管理計画
・「ゼロカーボンシティ」共同宣言～２０５０年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して～
・こしがや脱炭素コンソーシアム
・越谷市ゼロカーボン推進補助金
・越谷市省エネ家電買換促進補助金
・こしがや・おがの交流の森の森林整備
・こしがやＳＤＧｓパートナー

小・中学校で実施している環境学習の際に
こしがやＳＤＧｓパートナーのみなさんの
取り組みについて紹介しています。▼

こしがやＳＤＧｓパートナ交流イベント～脱炭素経営について考えよう～
報告書

実施日：令和７年７月８日（火）

２．基調講演
①「脱炭素経営に向けた地域金融機関の取組み」
講師：埼玉りそな銀行　経営企画部　サステナビリティ推進室　室長　鈴木　学　氏

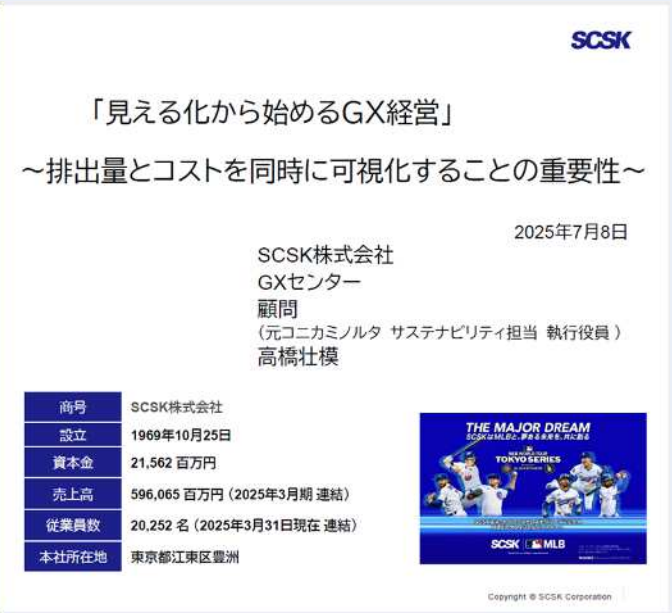
「ＳＤＧｓとは」というお話や「脱炭素経営に向けた地域金融機関の取組み」についてご講演いただきました。
世界の貧困や子どもたちの厳しい現実、気候変動や海洋プラスチックなどの環境問題についてお話いただき、一見“脱炭素”とは直接関係なさそうなゴールも、つながっていることが再認識できました。
脱炭素経営については、金融機関として把握されている世界の流れや、多くの取引先の現状などについてお話がありました。
脱炭素経営を目指すとしてもどこから手をつけていいのか、何を行えばいいのかわからないという声もたくさん聞かれます。
そんな中で、ステップごとに分けることで“現在地を知ることができる”というお話がありました。
自分の会社だけで脱炭素経営を目指す必要はなく、知見のあるパートナーと一緒に目指すこともできると教えていただきました。

こしがやＳＤＧｓパートナ交流イベント～脱炭素経営について考えよう～
報告書

実施日：令和７年７月８日（火）

２．基調講演
②「見える化から始めるＧＸ経営」～排出量とコストを同時に可視化することの重要性～
講師：ＳＣＳＫ株式会社　ＧＸセンター　顧問　高橋　壮模　氏

「脱炭素経営の重要性」と「実践的なアプローチ」についてご講演いただきました。
企業を取り巻く脱炭素活動の動向などについて、ご自身の経験を踏まえたお話をいただきました。
また、光熱費などの固定費は１度見直せばその後もずっと削減できるので、二酸化炭素の削減とコストの削減は両立できる、というお話が印象的でした。
二酸化炭素の削減のためには、まずどのくらい削減の余力があるのか、など「見える化」して現状を把握することが重要とのことでした。
見える化するための手法はいろいろありますが、専門的知見を有する機関に相談することも一つの有効な手段であると教えていただきました。



こしがやＳＤＧｓパートナ交流イベント～脱炭素経営について考えよう～
報告書

実施日：令和７年７月８日（火）

５．意見交換

基調講演後、意見交換を実施しました。
企業として参加いただいた方から各社１人ずつ発表いただきました。

・自社の現状
・今後の決意
・講師への追加の質問
・講演の感想

など、さまざまな意見を聞くことができました。
中には講師の方も感心してしまうような鋭い質問もあり、
講演内容をより深めることができました。

発表することで、より「自分ごと」と感じていただけた様子でした。